

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成22年2月18日 (2010.2.18)

【公表番号】特表2009-537798(P2009-537798A)

【公表日】平成21年10月29日 (2009.10.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-043

【出願番号】特願2009-510351(P2009-510351)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/574 Z N A A

C 0 7 K 14/705

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月21日 (2009.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- a) 個体から得られた便試料を提供する工程、
  - b) 前記試料をS100A12に対する特異的結合剤と、前記結合剤とS100A12との複合体の形成に適切な条件下で接触させる工程、
  - c) 工程(b)で形成された複合体の量を測定する工程、および
  - d) (c)で測定された複合体の量を結腸直腸癌の検出と関連させる工程
- を含む、結腸直腸癌の検出方法。

【請求項 2】

- a) 個体から得られた便試料を提供する工程、
  - b) 前記試料をS100A12に対する特異的結合剤と、前記結合剤とS100A12との複合体の形成に適切な条件下で接触させる工程、
  - c) 前記試料を、ヘモグロビン/ハプトグロビン複合体、ヘモグロビン、メタロプロテアーゼ組織インヒビター-1(TIM P-1)、および腫瘍M2ピルビン酸キナーゼ(M2-PK)からなる群より選択される第2のマーカ-に対する特異的結合剤と、前記結合剤と第2のマーカ-との複合体の形成に適切な条件下で接触させる工程、
  - d) 工程(b)および(c)で形成された複合体の量を測定する工程、ならびに
  - e) 工程(d)で測定された複合体の量を結腸直腸癌の検出と関連させる工程
- を含む、結腸直腸癌の検出方法。

【請求項 3】

前記第2のマーカ-がヘモグロビンである、請求項2記載の方法。

【請求項 4】

前記第2のマーカ-がヘモグロビン/ハプトグロビン複合体である、請求項2記載の方法。

【請求項 5】

前記第2のマーカ-がTIM P-1である、請求項2記載の方法。

## 【請求項 6】

前記第 2 のマーカーが M2-PK である、請求項 2 記載の方法。

## 【請求項 7】

個体から得られた便試料からの結腸直腸癌の検出におけるマーカー分子としてのタンパク質 S100A12 の使用。

## 【請求項 8】

個体から得られた便試料からの結腸直腸癌の早期検出におけるマーカー分子としてのタンパク質 S100A12 の使用。

## 【請求項 9】

個体から得られた便試料からの結腸直腸癌の検出における、ヘモグロビン/ハプトグロビン複合体、ヘモグロビン、メタロプロテアーゼ組織インヒビター 1 (TIMP-1)、および腫瘍 M2 ピルビン酸キナーゼ (M2-PK) からなる群より選択される結腸直腸癌の 1 種類以上の他のマーカー分子と組み合せた、結腸直腸癌のマーカー分子としてのタンパク質 S100A12 の使用。